

東邦車輛株式会社 殿

改造概要等説明書(改造自動車審査結果通知書)

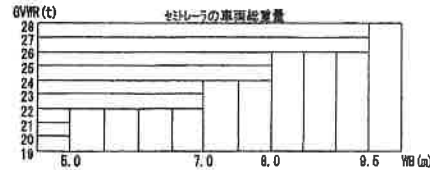
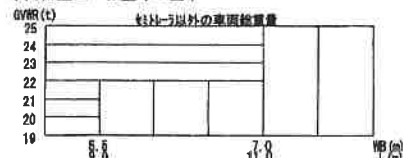
(指示事項)

主要諸元比較表

標準車の類別等を記載する。(0753)

項目	標準車	改造車	基準・限度	項目	標準車	改造車	基準・限度	
車名	東邦	←		乗車定員人	-	-		
型式	TF36H2C3	TF36H2C3改		最大積載量 kg	29200	28800		
自動車の種別	普通	←		車両重量 kg	前前軸重	10590	11285	
用途	貨物	←			後前軸重	8450	8235	≦10t (18170kg)
車体の形状	セミトレーラ	←			後中軸重	8450	8235	≦10t (11000kg)
燃料の種類	-	-			後後軸重	8450	8235	≦10t (11000kg)
原動機型式	-	-			計	35940	35990	≦36t (47150kg)
総重量(L又はR指定あり)	-	-		最大安定傾斜角度	右 50	* 49	一般 ≧35° その他 ≧30°	
長さ m	12.145 (11.800)	13.395 (12.225)	≦13m	タイヤサイズ	前前軸	-	-	
幅 m	2.490	←	≦2.6m		後前軸	11R22.5 -14PR	385/65R22.5 160J	(9000kg)
高さ m	2.260	3.020	≦3.8m		後中軸	11R22.5 -14PR	385/65R22.5 160J	(9000kg)
軸距 m	6.910+1.300	7.120+1.300			後後軸	11R22.5 -14PR	385/65R22.5 160J	(9000kg)
	+1.300	+1.300			前軸荷重	空車	-	-
軸距 m	-	-		制割合%	積車	-	≧18, 20%	
	前前軸	1.850	2.040	リヤ・オーバーハン	m	2.090	2.405	≦1/2 (4.860m)
	後前軸	1.850	2.040	荷台オフセット	m	2.610	2.790	
室内又は荷台の内側の寸法	長さ m	12.000	13.005	最小回転半径	m	-	* 10.2	≦12m
	幅 m	2.460	2.400					
車両重量 kg	高さ m	-	0.770					
	前前軸重	1310	1810					
	後前軸重	1810	1860					
	後中軸重	1810	1860					
後後軸重	1810	1860						
計	6740	7390						

車両総重量・軸重等の基準



隣接軸距	1.8m未満	1.8m以上	1.3m以上1.8m未満(1の車軸にかかる荷重が9.5t以下である場合)
隣接軸重	-kg ≦ 18t	-kg ≦ 20t	10470 kg ≦ 19t

能力強度等検算

制動能力	踏力 - N	60 km/h	4.67 m/s ²	車軸強度	$\sigma \beta / \sigma = 540 / 118.8 \times 2.5 = 1.81 \geq 1.6$
	空気圧	650kpa			$\sigma \gamma / \sigma = 390 / 118.8 \times 2.5 = 1.31 \geq 1.3$
車軸強度	$\sigma \beta / \sigma = 590 / 62.496 \times 2.5 = 3.77 \geq 1.6$	制動装置強度	-	操縦装置強度	-
	$\sigma \gamma / \sigma = 420 / 62.496 \times 2.5 = 2.68 \geq 1.3$		線衝装置強度	×	
車軸強度	←	連結装置強度	×	燃料装置	-
	←		電気装置	-	

注1. 能力強度検算欄は、該当しないものは、省略したものは×を記入すること。
 注2. 指示事項欄又は能力強度検算欄は、必要に応じて指示欄又は項目を追加・削除することができる。
 注3. 現車審査の際は、通知書及び改造部分詳細図等の添付書類を提示すること。(9.(1)関係)
 注4. *印は いすゞ QKG-EXD52BD型トラックと連結時の計算値を示す。

R019976

改造等の概要

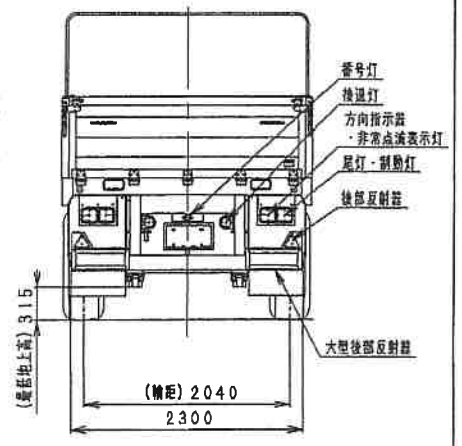
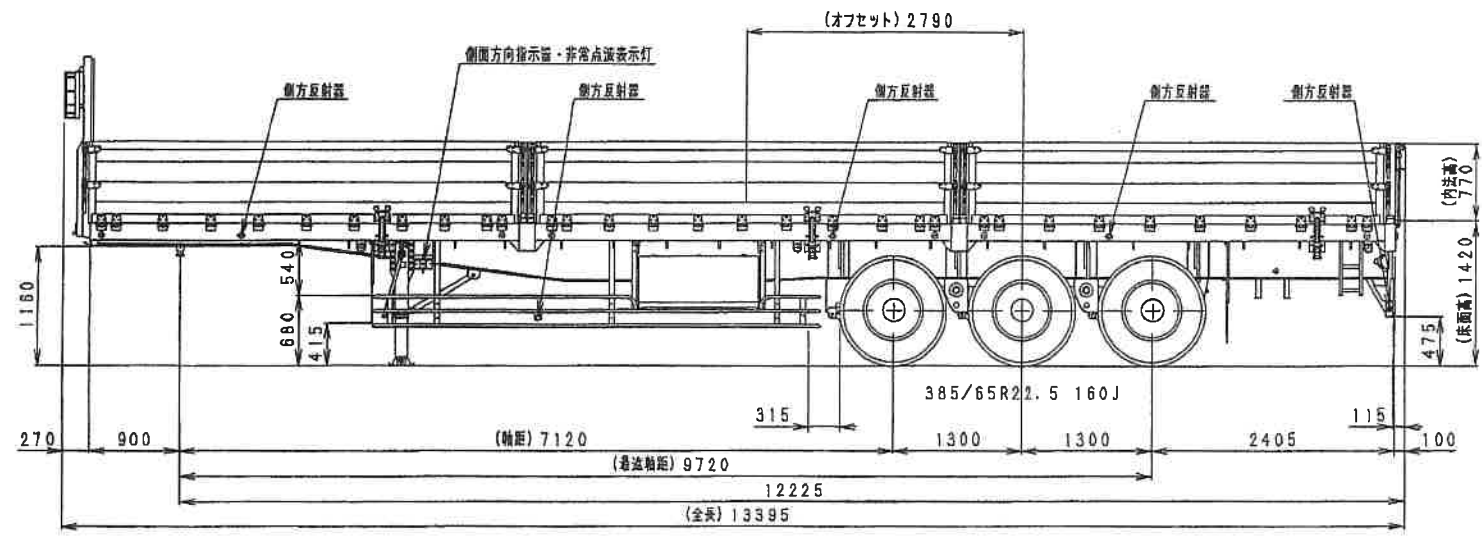
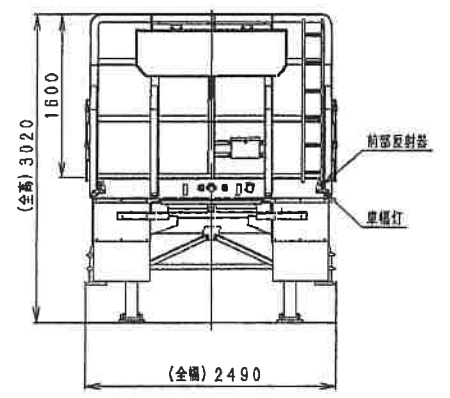
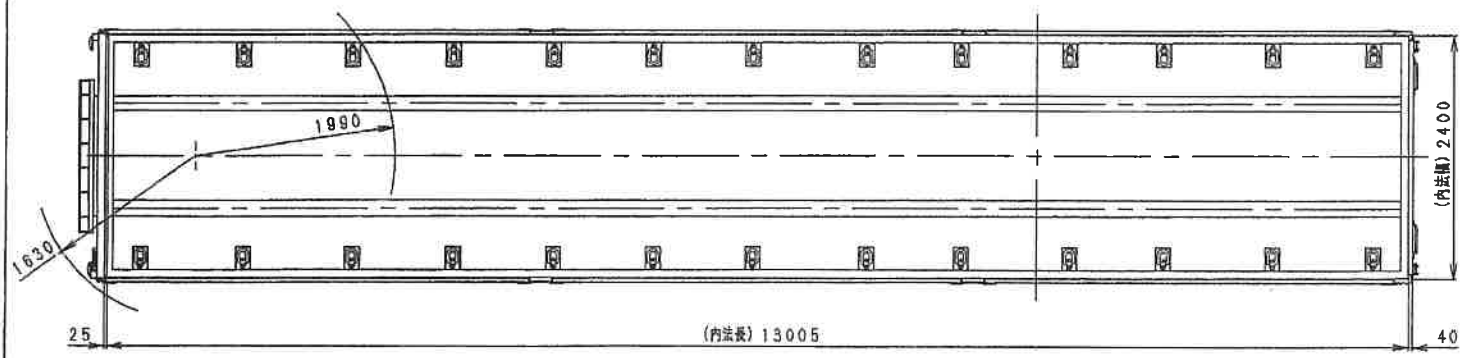
目的	東邦TF36H2C3型(29国自審第1066号新02125号、類別0753)セミトレーラを分割可能な貨物の安全輸送をはかるため変更する。(あおり型 固縛を前提にするもの)
車枠及び車体	・線衝装置取付部主フレーム縦板下部を0.030m除去し、高さ0.800mを0.670mにする。
原動機	
動力伝達装置	
走行装置	車軸は、20インチ系ダブルタイヤ用のものから東邦TF36H1C3型セミトレーラ(29国自審第1066号新06803号 類別0706)と同一の20インチ系シングルタイヤ用のものに変更する。
操縦装置	
制動装置	
線衝装置	
連結装置	
燃料装置	
電気装置	

注1 該当する事項が無い場合については、斜線で記入すること
 注2 届出者は、自動車の点検及び整備に関する情報の提供並びにリコール届出に関する責務があります。なお、リコール届出に関しては、その実施について道路運送車両法(昭和26年6月1日法律第185号)に基づく勧告、命令を受ける場合があります。(第57条の2、第63条の2、第63条の3関係)

改造等の概要補足説明

型式：東邦 TF36H2C3-89672～89681 型

車枠及び車体	<ul style="list-style-type: none"> ・フロントオーバーハングを 0.500m 延長する。 0.400m → 0.900m ・緩衝装置ブラケットを後方に 0.210m 移動することにより 最遠軸距を 6.910+1.300+1.300=9.510m → 7.120+1.300+1.300=9.720m に変更する。 ・リヤオーバーハングを 0.315m 延長する。 2.090m → 2.405m
制動装置	<ul style="list-style-type: none"> ・20インチ系ダブルタイヤ用から東邦TF36H1C3型セミトレーラ(29国自審第1066号新06803号 類別0706)と同一の20インチ系のシングルタイヤ用のものに変更する。 制動装置はブレーキライニングについて標準車の幅寸法が218.0mmに対しTF36H1C3型セミトレーラの幅寸法は138.0mmであり発生制動力が異なるが制動装置の技術基準はTF36H1C3型セミトレーラと同様に満足しており、技術基準等適合証明書を添付する。



東邦TF36H2C3改型
セミトレーラ外観四面図